

被子植物 双子葉類

マメ科

被子植物 単子葉類

裸子植物のなかま

種子でふえない植物のなかま

被子植物 双子葉類

マメ科

被子植物 単子葉類

裸子植物のなかま

種子でふえない植物のなかま

シロツメクサ



シロツメクサは、草むらや公園などに、地面をはうように生えていて、(1)から(2)にかけて(3)の花をさかせているのが見られます。「クローバー」とよばれることもあります。



シロツメクサは(4)です。緑色の葉をつけたまま冬ごしし、春になると花をつけるくきがのびます。

シロツメクサの花は、小さな花がたくさん集まって一つの花のようになっています。

+プラスワン

シロツメクサの花びらは5枚あります。1つ1つの小さな花は、ほかのマメ科の植物の花の形に似ています。



レンゲソウ



レンゲソウは、田んぼなどの(5)に、地面をはうように生えていて、(6)になると(7)の花をさかせます。「ゲンゲ」ともよべれます。



レンゲソウのみつは、(8)によく集められるため、レンゲソウの花のさいている場所ではミツバチを多く見かけます。

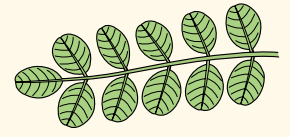
レンゲソウは(9)で、(10)に種子が発芽すると葉が出て、冬ごしします。(11)になると花をつけるくきがのびます。

レンゲソウの花は、小さな花がたくさん集まって一つの花のようになっています。

+プラスワン

レンゲソウとシロツメクサは花のつくりがよく似ていますが、葉のつき方がちがっています。

レンゲソウの葉



クズ



クズは、草むらなどに生えていて、まわりの樹木や植物に巻きついているのが見られます。(12)の1つです。



クズの根にはでんぷんが多くふくまれています。クズの根からとり出したでんぷんは、「クズ粉」として食用とされています。

クズは(13)です。冬になると葉などはかれますが、土の中のくきなどは生きていて、(14)になると芽を出して大きく成長します。(15)から(16)にかけて、(17)や(18)の花をさかせます。

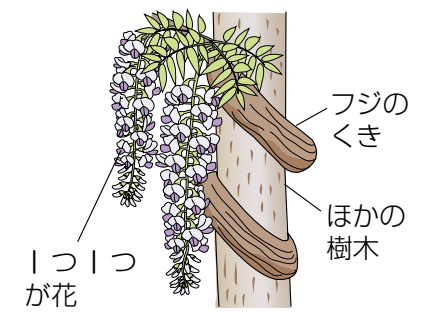
フジ



フジは、ほかのものに巻きついて高くのびる樹木です。(19)なので、冬になると葉を落とします。公園などにある「藤棚」で、春ごろに花をたれ下がらせているのが見られます。



フジの中には、森林に生えるものもあります。それらは、ほかの樹木に巻きついて高くのびます。



アサガオ



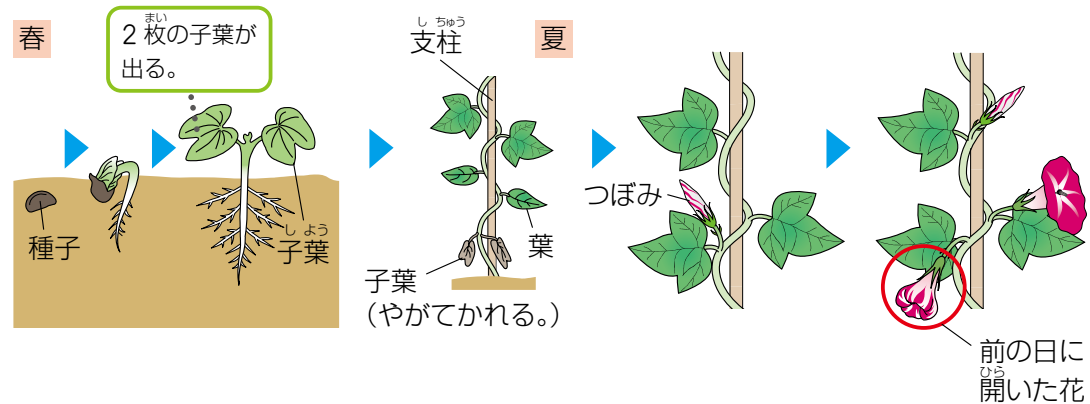
アサガオは、学校や家庭でよく育てられており、(20)になると(21)に赤色や青色のとても目立つ花をさかせているのが見られます。

つるをのばして長くのびるため、家のかきねやフェンスなどにびっしり巻きついていることもあります。



成長のようす

アサガオは(22)です。(23)にまいた種子が発芽すると、(24)にかけて大きく成長し、花をつぎつぎにさかせます。種子ができたあと、秋から冬にはかれます。

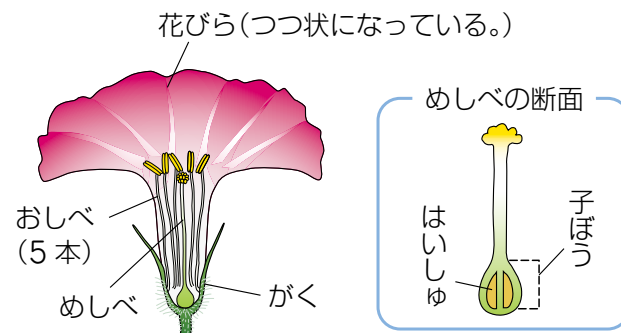


しぼんだ花の部分的拡大



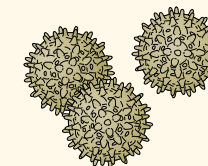
花のつくり

アサガオは、花びらを1枚1枚分けることができない(25)で、つつ状の形をしています。



+プラスワン

アサガオの花粉の表面にはとつきがたくさんあり、昆虫のからだやめしべの先などにくっつきやすくなっています。



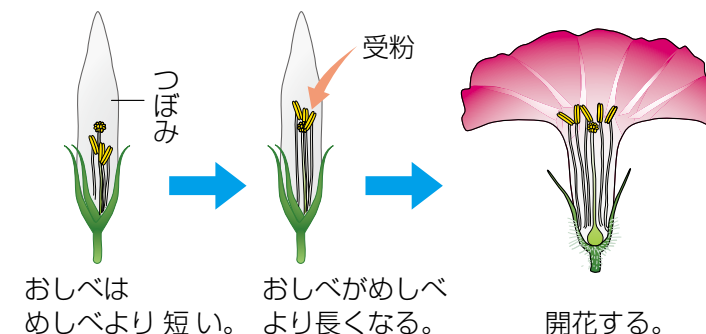
開花条件

アサガオは、1日のうちで暗い時間の長さが一定より(26)なる(日が短くなる)とつぼみをつけ、開花する(27)です。

明るい時間と暗い時間の長さをかえて、つぼみがつくかどうかを調べる実験は、入試問題でよく出るんじゃないよ。アサガオは、連続した暗い時間が一定の長さ以上になるとつぼみがつくから、実験の条件ではそこをチェックじゃ！

受粉の仕方

アサガオは、開花する前に(28)を行います。また、開花後に(29)も行う(30)でもあります。



(注意) 本ドリルでは入試問題を掲載していません。